

平成28年度「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」  
全国成果発表会

# 関係機関と連携した 交通安全指導



ミコロ

ハコロ（岡山市イメージキャラクター）

岡山市教育委員会

# 岡山市の概要

- 全国19番目の政令指定都市(平成21年4月1日～)
- 人口約71万人
- 面積約790km<sup>2</sup>
- 学校数
  - 幼稚園： 61園(休園3園)
  - 認定こども園： 5園
  - 小学校： 89校(分校2校)
  - 中学校： 38校
  - 高等学校： 1校



# 関係機関と連携した交通安全指導



## 【ソフト面】

- セーフティサイクル・ステップアップ・スクール
- 自転車指導警告数の情報提供

## 【ハード面】

- 学校安全アドバイザー派遣事業
- 通学路の合同点検

# 平成28年5月警察と協定を締結



# 1. セーフティサイクル・ステップアップ・スクール(SSS)

- 連携機関 警察
- 開始時期 平成26年10月
- 実施回数 1～2ヶ月に1度(年7回)
- 特徴 帰りの会等での短時間学習  
小学校(低／高学年)用、  
中学・高校用の3段階準備  
解答編等による家庭啓発



# 小学校用 (低学年)

## セーフティサイクル・ステップアップ・スクール

ねん くみ

なまえ

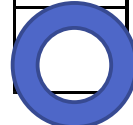
平成28年6月号

《ていがかねん》

ただしものに○を、  
ルールいはんには×をつけてください。

- 1 じてんしゃののり方にじしんがあっても、  
かさをさしてじてんしゃに  
のってはいけない。

こたえ



- 2 小学生どうしの2人のりはいけないが、  
大人の後ろになら小学生はのっても  
かまわない。

こたえ



- 3 じてんしゃはめんぎょがいないので、  
しんごうを守らなくてもよい。

こたえ



おかやまけんけいさつ

# 小学校用 (高学年)



## セーフティサイクル・ステップアップ・スクール ～自転車の事故・違反について～

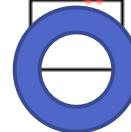
平成28年6月号

( )年( )組 氏名( )

<<高学年>>

問1 平成26年中、自転車に乗って交通事故にあい、けがをした小学生は100人を超える。

答え



問2 歩道と同様、路側帯内は左右どちらも自転車で通行できる。



答え



問3 自転車が歩道を通行してもよいという標識は「B」の標識である。

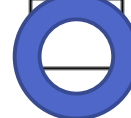
A



B

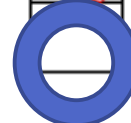


答え



問4 自転車横断帯のない横断歩道で歩行者がいなかったため、自転車に乗ったまま横断した。

答え



# 中学校・高校用

## セーフティサイクル・ステップアップ・スクール ～自転車の交通事故・違反について～

( )年( )組 氏名( ) <中学・高校生>平成28年6月号

問1 平成26年中、自転車に乗って死傷した交通事故のうち最も多発した時間帯は、朝の登校時間と重なる6時から10時までの間である。



問2 歩道と同様、路側帯内は左右どちらも自転車で通行できる。



問3 自転車が歩道を通行してもよいという標識は「B」の標識である



問4 自転車横断帯のない横断歩道で、歩行者がいなかったため自転車に乗ったまま横断した。



問5 時速20kmの標識のある道路では、自転車も最高速度を守って走行しなければならない。



### 岡山県自転車安全利用5則



- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
  - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
  - 夜間はライトを点灯
  - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
  - 運転中の携帯電話・音楽再生の禁止
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用





# アンケート結果から(H27)

○対象 小学校6校 4～6年生 591人

**Q 自転車に乗るとき、道を歩くときなど注意すべき点がありましたか。**

■よく分かった ■少し分かった ■分からなかった



**Q これからも交通ルールについて知りたいですか。**

■知りたい ■どちらでもいい ■知りたくない



# アンケート結果から(H27)

○対象 中学校6校 1～3年生 691人

Q SSSを受講し、違反や事故にあわないために気をつけていますか。

■ 気をつけている ■ 普段と変わらない ■ どちらとも言えない



Q 県内の小・中・高校が実施すれば、自転車ルール・マナーがよくなると思いますか。

■ よくなる ■ 少しずつよくなる ■ 変わらない ■ 分からない



# アンケート結果から(H27)

○対象 教員 372人

Q セーフティサイクル・ステップアップ・スクールの継続について。

■ 継続すべき    ■ どちらとも言えない    ■ 継続しなくてよい



\*ちなみに、保護者(2,636人)の**95.7%**は「**継続すべき**」と回答。

\*児童生徒や保護者と比較して、教員はやや負担感を感じている様子も見られる。

## 2. 自転車指導警告数の情報提供

- 連携機関 警察
- 開始時期 平成28年6月
- 報 告 2～3ヶ月ごとに  
各校の毎月の件数を報告



# 自転車指導警告数の推移(6～10月)

違反項目	無灯火	二人乗り	信号無視	一時不停止	右側通行	並進	傘差し運転	無線通話装置使用	画像表示用装置注視	イヤホン等使用	合計
6月	11	40	4	2	1	136	1	1	6	14	218
7月	17	22	6	4	7	187	1	4	12	15	279
8月	14	18	4	6	2	135	0	4	16	6	206
9月	22	33	4	0	10	196	4	3	11	10	294
10月	44	33	5	9	6	218	5	2	13	25	364

\*違反項目は主だったもののみ抽出

### 3. 学校安全アドバイザー派遣事業

#### ○アドバイザー

- ・交通安全 →警察OB(2名)
- ・生活安全 →警察OB(2名)
- ・災害安全 →大学職員・気象台(6名)

○6年間で市内全学校にアドバイザーを派遣  
(本年度は2サイクルの1年目)

○職員研修、児童生徒(地域)への講義等、  
学校のニーズに合わせて派遣可能

# 例)通学路の危険箇所を点検



## 4. 通学路の合同点検

### ○連携機関 警察、道路管理者

＊必要に応じて、地域代表者も参加(町内会長、  
交対協会長等)も参加

### ○5年間で市内全学校の通学路を点検

○関係機関が一堂に会して点検するので  
補修等の打ち合わせをスムーズに行うこ  
とができる。



# 学校が要望を挙げる

様式 1

危険箇所一覧

のセルに入力をお願いします。

学校名	担当の先生

学校名	箇所 番号	路線名 (分かる範囲で、県道〇〇号△△線)	箇所名・住所 (〇区△町1 1 1)	通学路の状況・危険の内容 (簡潔にお書きください)
	1		北区 453	道が狭く曲がり角になっているところに柵やガードレールもないので、用水に落ちる危険性がある。
	2		北区 305	車1台分の幅しかない道路で、踏切も近く交通量が多く危険である。
	3	県道151号線	北区 962	交通量の多い道路を横断するが、横断歩道もなく、しかも、どうしても斜め横断になってしまうので危険である。
	4		北区 1099-12	この地点から北に向けて数十メートルの区間は道路のすぐ横を用水が流れているが、柵もガードレールもない。用水が増水したときには道路と用水の区別がつきにくく危険である。また写真の場所に信号待ちの児童が溜まると用水に落ちる危険が増す。さらに現在ある柵の隙間から小さい児童が落ちる危険性もある。
	5			

# 学校が要望を挙げる

現地の地図と  
写真を添付し  
提出する。

様式2

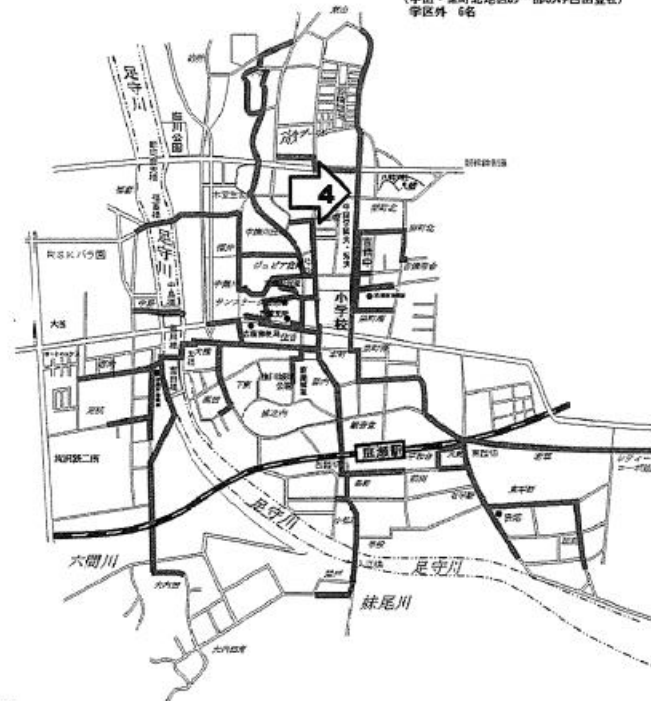
危険箇所図

箇所番号

4

平成28年度 岡山市立 小学校 通学路地図

集団登校  
(中田・金町北地区の一部のみ自由登校)  
学区外 6名





補修後





対策後

# 用水路への転落防止対策も



# 成果

- 児童生徒の交通安全に関する意識や危機回避能力の向上につながる取組ができた。(ソフト面)
- 児童生徒の安全な登下校にむけての環境整備を行うことができた。(ハード面)
- 関係機関(特に警察)との連携、情報交換が以前よりスムーズに行うことができるようになった。

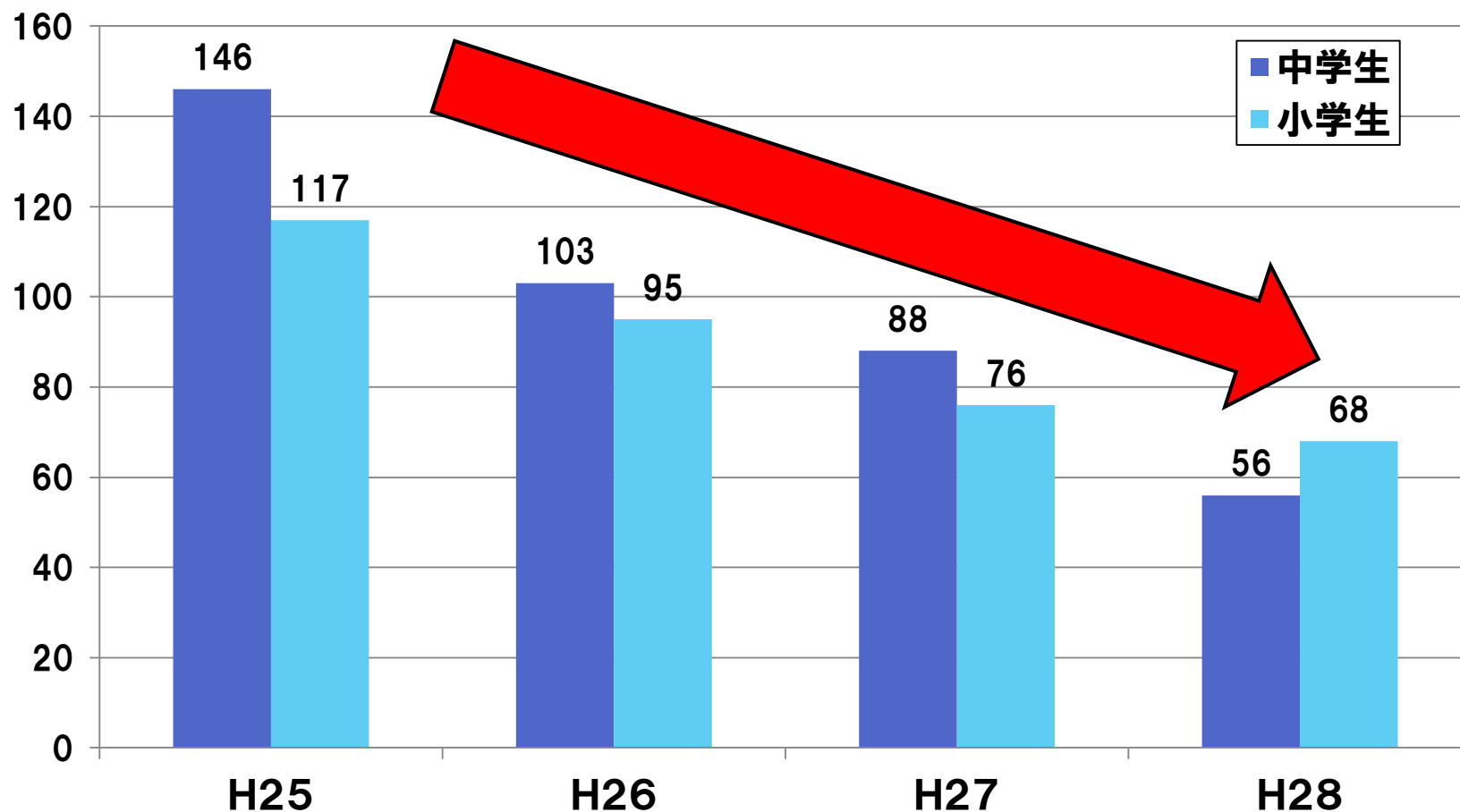
## 交通事故件数の推移(H25～)

岡山市内中学生	H25	H26	H27	H28
件数	146	103	88	56
死者数	0	0	0	0
負傷者数	179	129	98	77

\*H28は概数

岡山市内小学生	H25	H26	H27	H28
件数	117	95	76	68
死者数	1	0	0	1
負傷者数	194	152	106	112

# 交通事故件数の推移(H25～)



\*H28は概数



# 課題

○交通事故件数が減少していることは大変喜ばしいことであるが、それぞれの取組の効果をどう評価するのが課題である。

また、究極的な目標は交通事故0件であるので、今後も関係機関と継続した連携が必要となる。

ご清聴ありがとうございました

